

亀山温泉ホテル  
企画広報 豊島 大輝



## 自然とつながり、自分と繋がり 命を燃やして暴れる人生を

アウトドアが好きな父親のもとで育ちました。休みの日となるとあちこちにキャンプに行ったり、早朝から釣りに行ったり。とにかく子どもの頃から自然と触れ合うことが日常でした。

それが変わったのは父親が転勤してから。あんなにアウトドアに行っていた父親が、仕事が忙しくなり、自然と触れ合う機会が減って、脳梗塞を発症。それも一度ではなく2度も。

この時に「人は自然と離れては生きていけないんだ」ということを痛感して以来、自分の道が始まりました。

私が就職活動をした時代は就職氷河期。社員職がなくてスポーツクラブのインストラクターになり、健康運動指導士に。その後は資格があれば生きていけると思い、セラピストの世界に入って研修を重ねいろんな資格をとって仕事にしてみました。

これまでにヨガや整体、様々なセラピーを経験してきましたし、タラソセラピーのセラピストとしては8年間勤めました。高野山の宿坊に籠る修行までやってね。とはいえ、高野山の修行は、寒いのが嫌ですぐ下山しましたけどね。笑

父親の体験から得た、自然と離れては人は生きていけないという信念のもと、本質的に生きるということとは一体どういうことなのか、自然に逆らわず、自然法則に従って、心身ともに自然と共存して健康やかに生きるとはいはどういうことなのかを、ずっと探究し続けています。

本質的な生き方を探究すると同時に、一人の人間として成功したいという気持ちも、あって。

高卒でもこの社会で生き抜きたい、そんな気持ちもあって、進んできましたね。

※



※

父の病気もあって、進学を諦めたことで生まれた社会に対するコンプレックスが原動力になり、これまでやってこれた、というのもあるんでしょうね。

自然と調和して生きる道を探究すると同時に、伊豆外資系旅館の再建をするなど、ビジネスの世界でも結果を出して進んできた先で、2010年に出会ったのが鵜田社長です。

私のしている事業が気になっている、ということでお話しさせていただいたのが始まり。

それから2、3年後、私は棚田再生事業や鹿野山の自然学校を運営し、個人事業主として働いていましたが、自然相手の仕事はどうしても気象条件に左右されることがあって、やりたいことはあれど、収入としてはどうしても不安定になる。どうしていかを考えていた時でした。

そんな状況の時に、鵜田社長に以前ここで働かないかと言われていたことを思い出してね。

亀山温泉ホテルのスタッフとして働くことで安定した収入の地盤を作りながら、自分のやりたいことも叶えていく方が、結果として生きたい人生が進めるのではないか、そんな気持ちから、週3回スタッフになることを決断したのが始まり。

一時はシフトから抜けて他の場所で働いたこともありますが、やっぱりここが好きなんでしょうね。戻ってきました。

---

**ホテルのスタッフとして貢献しながら  
自分のやりたい道を叶える。**

**個人事業主と会社員の  
両輪を回して生きていくという考え方**

---

2021年からは正社員になり、現在は個人事業もしながらここで企画広報担当として、宿泊プランや、新事業の計画立案をしています。

そのほかにも施設を自分で修繕したりもしていますね。大きな修繕はできませんが、ちょっとした修理は私がしています。自分でできることをする、工夫が好きですね。

そして、新しいこと、挑戦のある人生が好き。だからルーティーンを回していくような仕事ではなく、いつでも何かにチャレンジし続けていきたい。その場所の一つとしてここでの仕事があります。

私はどこにいても、やりたいことは「自然とつながること」ですから、ここにきた当初から、ライフワークとしても、亀山温泉ホテルの一事業としてもリトリートがやりたいと思っていました。

でも社長の中では最初の頃はピンときてなかったんじゃないかな。事業計画も作って、提案は何度かしましたけど、いい反応じゃなかったですね。

代替わりしてからは、親子・・・特に小さなお子さん連れが泊まりに来る、ファミリー向けのホテルを目指してましたから、リトリートにはあまり興味が向かなかったんでしょうね。笑

タイミングじゃなかった、っていう言い方が正しいかもしれない。

私は私としてやりたいこと・・・自然とつながる体験、リトリートを提供したいと思ってはいたけれど、それが会社の意向に沿ってないなら、無理強いはできない。ですから、まずは会社に対して何か利益となる企画を考え結果を出そう、そう思っていましたね。そうして生まれたのが「焚き火プラン」です。



火を見るってすごくいいものです。でもこういうことって普段はなかなかやらないでしょう。

この焚き火の道具なんかも、私が作って、プランを作りました。

焚き火を囲んで火を見てると、いろんな話もするし、そこでマシュマロ焼いて食べたり・・・これが、ヒットした。有名リゾートの宿泊プランを超えるような亀山温泉ホテルの人気のプランになったんです。そこから、リトリート導入の流れができました。

今は、ホテルにグランピング施設を誘致できたのもあり、「レイクリトリートプラン」として、リトリートに興味がある人なら誰でも簡単に親しめる内容にしています。

周辺を散策して生態を見たりちょっとした話を聞いたり、湖畔で簡単なヨガをしたり。

それでもすごく自然とつながることができる。

ここはとても静かですし、自然が豊かですから、ちょっと立ち止まって呼吸をしたり、心を沈めて周りの音を感じるだけでも全然違う。

でも私としては、これからはもっと本格的なリトリートもやっていきたいな、とも思っています。

体験版としてではなく、より本格的な、断食なんかもいいですよ、自然を通して自分の中心とつながるようなね、そういうものを定期的にやっていきたい。

ここが好きで、自分で選んだ場所だからこそ、ただ、好き勝手やるんじゃない、ホテルに対しても利益を還元できる企画を生み出しながら、自分のやっていきたいことを実現する。

そんな仕事の仕方はなかなか面白いもんですよ。



ただ、ここでの仕事は、個人事業主でスケジュールも仕事も全部自分で決められてた時とは違って、シフト勤務ですからある程度の製菓はありますし、なんでも自分がやりたいことが認められるわけでもない。

企画をやってみようと言っても最初から満場一致でゴーとはいかなかったり、時にはスタッフとの行き違いがあることもあります。

言葉の定義も人それぞれですから、誰もが同じ感覚で物事は捉えられない。

そういう時には、争うよりも、どうしたらうまくいくかを考えて、自分が持ちうる資源を考えて、ゴリ押しするよりも物事が流れるようにうまくいく方法を、遊び心を持って選んでいけば、スルッと流れていく。

企画広報として、宿泊業以外の新企画も考えながら、楽しみながら会社の利益を生み出すことはなんだろうか。

この場所を生かしてできること、周りにあるものをどれだけ生かして、新しいものを生み出していけるか。

これも自然と繋がって生きていく、僕のブレない軸です。

そういうことを考えた時に思いついたのが、廃屋を使ったローケーションサービス。

これはね、ある時ホテルの屋上で撮影をしていた時に、この広い空と亀山湖の空気を感じていた時に、パッと浮かんだアイデアです。

ホテルのすぐそばにある廃屋。これはもしかしたら使えるんじゃないか。木更津は映画のロケ地としても活用されてもいましたから、これはいけると思ってアプローチして、見事に当たった。会社にも利益を提供できたし、そのおかげで、リトリートの方でもより賛同を得られるようになったり。自分がやりたいことを、自然の流れに任せながら、こうやって超えていくと、新たな体験が広がって道ができる。それが面白いですね。



私は週3日のスタッフで入社したのが2014年でしたから、このホテルでは代替わりする前から知っている一人です。

代が変わって、ホテルも変わりましたし、変わったこともあれば失ったことももちろんあると感じています。

変わったことは、もちろん、新たな流れができたこと。

社長は見ての通り、新しいことが好きですから、SNSの発信もするようになって、今まででは思いつかないような新たな企画も始まりました。



## 自分の心の情熱を もっと燃やして 暴れ回りたい



大変だったと思いますよ。順調にいくかと思ったら、台風の被害やコロナがきて、一気に売り上げが落ちて窮地に立たされた。

でも、それがよかったとも思います。

変わるべきところは変わらざるを得なくなったし、窮地に立たされたことで、社長も私たちも成長したと、感じています。

先代から変わって、やっぱり人情的なものは少し薄らいだのかもしれない。でもそれも、今また少しずつ変わってきています。

お客様に対しても、スタッフに対しても、誰もがいるのは当たり前じゃないからこそ、ちょっとした気遣いや声かけがすごく嬉しかったり、心に響いたりする。

そういう小さな気遣いが、以前より増えてきたなと感じています。

社長も自分の思うようにやりたい！という気持ちももちろんあったでしょうけど、いろんなことをセミナーなんかで学んで、人となりはどんどん変化して成長しているなと感じます。

最近では仕事を任せられることも増えてきました。すごいですよね。そうなると決めたら、やっぱりなっけていきますから。

今では、私がここへ来た当初（2014年）より、関わる人への感謝や、スタッフを褒めたりするようになったなあと感じています。

だからホテルとしても、もっと成長していくといいなあと。

老舗旅館としての礼儀と感謝は大事にしながら、新たなことにどんどん挑戦していく、その成長を共に進んでいきたい。

私自身ですか？

そりゃもう、まだまだこれからですよ。ここでも、私自身としても、いつまでもずっと「自然と共にある」を体現していきたい。ライフワークのリトリートだけじゃなく、やっていきたいことはまだまだいっぱいありますからね。

だからこそ、ここでも、ライフワークを続けていくために、会社にも利益を出せる企画をどんどんやっていきたい。

これから先もこんなことあんなことをやっていきたいと思うだけで、ワクワクしますし、暴れ回るぞ！という感じです。

私もここでたくさん挑戦させてもらいました。だからここに働きに来る人にもたくさんチャレンジして欲しいし、社長はチャレンジさせてくれる。

サポートはもちろんします。一緒に、暴れましょう。